

公益財団法人 仁科記念財団

平成 27 年度 事業報告書

仁科記念財団の公益目的事業は、定款第 4 条に掲げられている通り、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において（1）きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与（2）著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催（3）歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行などの活動（5）優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成である。

平成 27 年度は、以下の公益目的事業を行った。

1. 仁科記念賞

仁科記念賞は、広い意味での原子物理学およびその応用に関して顕著な業績をあげた比較的若い研究者に授けられる賞で、当財団創設の 1955 年以来、毎年数名の将来性豊かな研究者に授与されてきた。これまでの受賞者の総数は 182 名（今年度は笠真生氏、古崎昭氏、本林透氏、櫻井博儀氏の 4 名）となり、その中からは国内外で著名な賞に輝いた受賞者が多く、研究者社会において仁科記念賞の価値と名誉は広く認められている。たとえば、ノーベル物理学賞受賞者 6 名（昨年度の 1996 年受賞者中村修二氏に続き、今年度は 1999 年の梶田隆章氏）、文化勲章受章者・文化功労者 19 名（今年度は梶田隆章氏）、恩賜賞・日本学士院賞受賞者 32 名（今年度は 2012 年の細野秀雄氏、2013 年の香取秀俊氏の 2 名）となっている。

仁科記念賞規程では、① 6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページ、日本物理学会誌、日本化学会誌等に、仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募し ② 授賞件数は 3 件以内 ③ 選考は選考委員会で行い受賞者には、賞状、賞牌と 1 件当たり 500 千円の副賞を授ける ④ 選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に公表 ⑤ 授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日に、これまでの受賞者、選考委員、運営諮問委員、助言委員、顧問、評議員、役員の参加する研究交流の場で行うこととしている。

平成 27 年度第 61 回仁科記念賞もこの規程の通り選考が行われた。今年度は 16 件の推薦があり、選考委員会（藤川和男委員長他 13 名）において各候補者について慎重に審議した結果、次の 2 件に授与することとした。この結果は平成 27 年 11 月 6 日に開催された第 17 回理事会において承認され、11 月 13 日に日本アイソトープ協会会議室において新聞発表を行った。授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の翌日の 12 月 7 日（月）に如水会館（千代田区一ツ橋）にて執り行われた。

- ・受賞者：笠 真生（イリノイ大学物理学科助教授）
：古崎 昭（理化学研究所主任研究員）

業績題目：トポロジカル絶縁体・超伝導体の分類理論

- ・受賞者：本林 透（理化学研究所仁科センター特別顧問）
櫻井博儀（東京大学大学院理学系研究科教授・理化学研究所仁科センター主任研究員）

業績題目：中性子過剰核における魔法数の異常性の発見

2. 仁科記念講演会

仁科記念講演会は当財団創立以来の重要な事業で、社会に原子物理学の真髄を啓発するため、毎年一般の参加を得て開催されてきている。

今年度は、以下のように第 61 回定例仁科記念講演会が開催された。

第 61 回定例仁科記念講演会「一般相対論 100 年」

日 時：平成 27 年 12 月 7 日（月）15:30 ～ 17:30

場 所：如水会館

主 催：仁科記念財団

後 援：日本アイソトープ協会

（プログラム）

挨拶：小林誠 仁科記念財団理事長

講 師：前田恵一 早稲田大学理工学部教授

題 目：「時空の物理学の誕生—宇宙論、ブラックホール、そして重力波—」

講 師：三尾典克 東京大学大学院工学系研究科特任教授

題 目：「アインシュタインへの挑戦—実験物理の極限を目指して—」

参加者：約 70 名

講演録が NKZ シリーズとして刊行される予定。

3. 仁科記念室

(1) 資料の提供

- ・平成 27 年 5 月 1 日 19 時 30 分～20 時 30 分に放映された NHK 総合番組「被爆 70 年特番 焦土の放送局」で財団所蔵の原爆被害調査写真の 1 枚（多数の被爆者が横たわっている写真）が使用された。
- ・松木秀文、夜久恭裕著「原爆投下 黙秘された極秘情報」新潮社文庫本に財団所蔵の「二号計画」関連の写真が掲載された。
- ・日本テレビが平成 27 年 8 月 4 日 21 時～23 時、戦後 70 年特別番組「櫻井翔&池上彰 教科書で学べない戦争」を放映。その一部で、池上彰氏が仁科記念室で玉木先生への仁科先生の置手紙や熱拡散塔建設資料を使って「二号計画」を紹介した。
- ・産経新聞が 8 月 3 日朝刊「核物理学の陰影（上）」と 8 月 10 日朝刊「核物理学

の陰影（下）」で日本の原爆研究の特集記事を掲載した。財団所蔵の「二号計画」関連の写真を提供した。

- ・NHKが平成27年11月1日、特番「NHKスペシャル—盗まれた最高機密 原爆・スパイ戦の真実」を放映した。財団所蔵の「二号計画」関連の写真を提供した。

(2) 見学者

- ・団体の見学：岡山県里庄町中学生（9名）、引率の先生他
日時：平成27年7月31日 午後1時～3時
見学会名：第18回「仁科芳雄博士の足跡を訪ねて」
主催者：公益財団法人科学振興仁科財団、里庄町、里庄中学校
目的：仁科博士の出身地の岡山県里庄町で選抜された中学生を対象にした「仁科博士の足跡をたどる国内・海外研修の旅」の一環

(3) 資料の整理

- ・第一次史料のpdfファイル化を進めた。

4. 研究関連等の出版

- ・NKZ No.57 第60回定例仁科記念講演会講演録：「冷却原子を用いた量子シミュレーション」高橋義朗、「クォーク物理学の展開」三田一郎（2015年10月）を刊行した。
- ・2015年度版仁科記念財団案内（2015年6月）を刊行した。

5. 研究者の海外派遣・招聘

本財団は、若手研究者の海外派遣・招聘事業に替わる新たな支援事業として、平成24年度にアジアの若手研究者を鼓舞激励するNishina Asia Awardを創設した。

Nishina Asia Awardは、アジアに研究基盤をおいて極めて優れた成果を挙げた日本以外のアジアの若手研究者（学位取得後15年以内）を毎年1名選考して、賞状と賞牌および賞金400千円を仁科記念賞授賞式の中で授与し、さらに授賞式の前後約2週間、わが国研究者との研究交流を助成するという事業で、これを研究者の海外派遣・招聘事業予算で実施する。選考はNishina Asia Award規程に則り当該選考委員会（江口徹委員長他11名）で行い、選考結果は理事長の承認を得て9月初旬には受賞者に通知される。

第3回となる2015年Nishina Asia Awardの候補者募集要項を平成27年1月1日から3月31日の3ヶ月間、当財団ホームページに掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、14件（中国7件、韓国3件、台湾1件、シンガポール1件、マレーシア1件、パキスタン1件）の応募があった。選考委員会で慎重に選考した結果、「量子異常ホール効果の初めての実験観測における傑出した貢献」” For the first experimental realization of the quantum anomalous Hall effect ” の業績で、中国籍の何珂准教授（Ke He, Associate Professor, Department of Physics, Tsinghua University,

Beijing) に授与することに決定した。授賞は、本財団ホームページ、Association of Asia Pacific Physical Societies (AAPPS) の Bulletin に公開された。何准教授は 12 月 7 日に仁科記念賞・仁科アジア賞授賞式に出席した後、東大でセミナー、京都で国際会議の招待講演を行った。

第 4 回 2016 年 Nishina Asia Award は、平成 28 年 1 月 1 日から 3 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページに候補者募集要項を掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、15 件（中国 10 件、インド 2 件、韓国 2 件、台湾 1 件）の応募があった。

6. 賛助会員

平成 27 年度の賛助会員数は 8 法人（科研製薬株式会社、鹿島建設株式会社、キッコーマン株式会社、住友化学株式会社、住友重機械工業株式会社、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、公益財団法人本田財団）、2 個人。

7. 会議の開催

平成 27 年度に開催した評議員会、役員等候補選定小委員会、理事会、選考委員会、運営会議・運営諮問委員会の開催日時、出席者、議事は以下の通り。開催場所はすべて日本アイソトープ協会会議室。

(1) 評議員会

1) 第 5 回（定時）

日時：平成 27 年 6 月 9 日 11:00~13:00

出席評議員：有本建男、郷通子、佐藤勝彦、伊達宗行、中原恒雄、西村純、
廣田榮治、宮沢弘成、山崎敏光（会長）、吉田庄一郎評議員

欠席評議員：川路紳路、鈴木厚人、高橋真理子評議員

出席監事：池田長生監事

欠席監事：荒船次郎監事

出席理事：小林誠理事長、矢野安重常務理事（オブザーバー）

議事：①平成 26 年度事業報告書および決算書が原案通り承認された。②次期評議員として、田畑米穂理事を新たに選任し、有本建男評議員、川路紳路評議員、郷通子評議員、佐藤勝彦評議員、鈴木厚人評議員、高橋真理子評議員、伊達宗行評議員、中原恒雄評議員、廣田榮治評議員、山崎敏光評議員会会長、吉田庄一郎評議員を重任とした。③次期理事として、柴田徳思日本アイソトープ協会専務理事、安藤恒也運営諮問委員および仁科浩二郎運営諮問委員を新たに選任し、秋光純理事、家泰弘理事、小林誠理事、鈴木増男理事、永宮正治理事、矢野安重理事、山田作衛理事を重任とした。また次期監事として、江澤洋理事を新たに選任し、荒船次郎監事を重任とした。④会計監査人とし

て、宮田芳直公認会計士を重任した。⑤定款第40条第1項「理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、議長および出席した監事が署名捺印しなければならない。」を「理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、理事長および出席した監事が署名捺印しなければならない。」に改訂した。⑥役員報酬規程第2条第2項「常勤理事の報酬の総額は、年2,400千円までとし、支払い金額は評議員会において定める。」を「常勤理事の報酬は別表の通りとする。（別表）常勤理事には報酬として、年1,200千円を支払う。」と改訂した。

(2) 役員等候補選定小委員会

1) 第2回

日時：平成27年5月26日 11:00~13:00

出席委員：郷通子、佐藤勝彦、伊達宗行委員、山崎敏光委員長

欠席委員：鈴木厚人委員

出席理事：小林誠理事長、矢野安重常務理事（オブザーバー）

議事：①理事会案の次期評議員候補について個別に審議し、田畑米穂理事を新任、有本建男評議員、川路紳治評議員、郷通子評議員、佐藤勝彦評議員、鈴木厚人評議員、高橋真理子評議員、伊達宗行評議員、中原恒雄評議員、廣田榮治評議員、山崎敏光評議員会会長、吉田庄一郎評議員を重任として、第5回評議員会に推薦することとした。②理事会案の次期理事および監事候補について個別に審議し、柴田徳思日本アイソトープ協会専務理事、安藤恒也運営諮問委員および仁科浩二郎運営諮問委員を新任、秋光純理事、家泰弘理事、小林誠理事、鈴木増男理事、永宮正治理事、矢野安重理事、山田作衛理事を重任とし、また次期監事として、江澤洋理事を新任、荒船次郎監事を重任として推薦することとした。

(3) 理事会

1) 第14回

日時：平成27年5月13日 17:00~18:00

出席理事：家泰弘、江澤洋、小林誠、鈴木増雄、田畑米穂、永宮正治、矢野安重、山田作衛

欠席理事：秋光純、仁科雄一郎理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

議事：①平成26年度事業報告書および決算書（案）が承認され、第5回定時評議員会に諮ることとした。②第5回定時評議員会終結時に任期満了となる評議員、理事および監事ならびに会計監査人について「緩やかな世代交代」の案が提案され、平成27年5月26日に開催される役員等候補選定小委員会に

理事会案として提案することとした。本案は次の通り：1) 田畑米穂理事に新評議員をお願いする。西村純評議員と宮沢弘成評議員にはご勇退いただき他の評議委員には重任をお願いする。また山崎敏光会長には継続して会長をお願いする。2) 柴田徳思日本アイソトープ協会専務理事と安藤恒也運営諮問委員および仁科浩二郎運営諮問委員に新理事をお願いする。仁科雄一郎理事にはご勇退いただく。3) 江澤洋理事に新監事をお願いする。池田長生監事にはご勇退いただき、荒船次郎監事には重任をお願いする。4) 宮田芳直会計監査人には重任をお願いする。尚、西村純評議員、宮沢弘成評議員、仁科雄一郎理事、池田長生監事には今後とも財団の運営にご助言いただくため随時運営会議にご出席いただくものとする。③第 5 回定時評議員会を平成 27 年 6 月 9 日 11:00 より日本アイソトープ協会第 3 会議室にて開催することとした。

2) 第 15 回

日時：平成 27 年 6 月 10 日 17:00~17:30

出席理事：安藤恒也、秋光純、家泰弘、小林誠、柴田徳思、鈴木増雄、永宮正治、仁科浩二郎、矢野安重、山田作衛、全理事

出席監事：荒船次郎、江澤洋監事

議事：①小林誠理事長、鈴木増雄常務理事、矢野安重常務理事、山田作衛常務理事を重任とした。②矢野安重常務理事を常勤とし、理事長に事故あるときまたは理事長が欠けたときは、評議員会および理事会招集ならびに理事会議長の職務を代行する常務理事とした。③前運営諮問委員および委員長を重任とした。但し、安藤恒也、仁科浩二郎前運営諮問委員は理事に就任のため除外。④前顧問、前助言委員および委員長を重任とした。但し、木越邦彦委員はご逝去のため除外

3) 第 16 回

日時：平成 27 年 7 月 22 日 17:30~18:00

出席理事：秋光純、家泰弘、小林誠、柴田徳思、永宮正治、仁科浩二郎、矢野安重、山田作衛理事

欠席理事：安藤恒也、鈴木増雄理事

出席監事：荒船次郎、江澤洋監事

議事：①運営諮問委員として新たに、初田哲男 理化学研究所仁科加速器研究センター初田量子ハドロン物理研究室主任研究員および西森秀稔 東京工業大学大学院理工学研究科教授を選任した。

4) 第 17 回

日時：平成 27 年 11 月 6 日 17:00~18:00

出席理事：秋光純、家泰弘、小林誠、鈴木増雄、永宮正治、仁科浩二郎、矢野安重、山田作衛理事

欠席理事：安藤恒也理事

出席監事：江澤洋監事

欠席監事：荒船次郎監事

出席選考委員：藤川和男委員長

報告：小林理事長、鈴木常務理事、矢野常務理事、山田常務理事より、本年度上半期の業務執行状況報告があった。

議事：①選考委員会提案通り平成 27 度仁科記念賞受賞者を決定した。

5) 第 18 回

日時：平成 28 年 3 月 15 日 17:30~18:30

出席理事：秋光純、安藤恒也、小林誠、鈴木増雄、柴田徳思、仁科浩二郎、
矢野安重理事

欠席理事：家泰弘、永宮正治、山田作衛理事

出席監事：江澤洋監事

欠席監事：荒船次郎監事

報告：小林理事長、鈴木常務理事、矢野常務理事、山田常務理事より、本年度下半期の業務執行状況報告があった。

議事：①平成 28 年度事業計画書および収支予算書案を承認した。②平成 28 年度事業計画を遂行するにあたり、特定資産を 150 万円取り崩すこととした。

(4) 仁科記念賞選考委員会

1) 第 1 回

日時：平成 27 年 10 月 9 日 17:00~21:00

出席委員：藤川和男委員長、選考委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重理事

2) 第 2 回

日時：平成 26 年 10 月 29 日 17:00~21:00

出席委員：藤川和男委員長、選考委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重理事

議題；①平成 27 年度仁科記念賞受賞者の選考委員会案を決定した。

(5) Nishina Asia Award 選考委員会

1) 第 1 回

日時：平成 27 年 5 月 22 日 17:30~20:30

出席委員：江口徹委員長、選考委員

出席理事：鈴木増雄理事

2) 第 2 回

日時：平成 27 年 7 月 2 日 17:00~20:00

出席委員：江口徹委員長、選考委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重理事

議題；①第3回 2015 Nishina Asia Award 受賞者の選考委員会案を決定した。

(5) 運営会議・運営諮問委員会

1) 第1回

日時：平成27年4月22日 17:30~19:30

出席委員：梶田隆章委員長、伊藤公孝、江口徹、仁科浩二郎、藤川和男委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、江澤洋理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

議題：①第5回評議員会に諮る平成26年度事業報告および決算書の理事長案について②第2回役員等候補選定小委員会に諮る新評議員、理事、監事、会計監査人候補の理事長案について③仁科記念賞授賞理由書発表の段取りについて④平成27年度定例仁科記念講演会の企画について：大テーマを「一般相対論100周年」とした。

2) 第2回

日時：平成27年5月13日 17:30~19:30

出席委員：梶田隆章委員長、安藤恒也、伊藤公孝、仁科浩二郎委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、家泰弘、江澤洋、
田畑米穂、永宮正治理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

議題：①平成27年度定例仁科記念講演会「一般相対論100周年」の企画について：場所、聴衆、講師、ポスター等

3) 第3回

日時：平成27年6月10日 17:30~19:30

出席委員：江口徹、須藤靖、藤川和男委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、秋光純、安藤恒也、家泰弘、
柴田徳思、仁科浩二郎理事

出席監事：荒船次郎、江澤洋監事

出席評議員：山崎敏光会長

出席客員運営諮問委員：池田長生委員

議題：①平成27年度定例仁科記念講演会「一般相対論100周年」の企画について：三尾典克 東京大学大学院新領域創生科学研究科物質系専攻教授と前田恵一 早稲田大学理工学部教授に講師をお願いすることとした。場所は如水会館、時間は仁科記念賞・仁科アジア賞授賞式の前、聴衆は授賞式出席者他。

4) 第4回

日時：平成27年7月22日 17:30~18:00

出席委員：梶田隆章委員長、江口徹、早野龍五委員
出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、秋光純、家泰弘、柴田徳思、
永宮正治、仁科浩二郎理事
出席監事：荒船次郎、江澤洋監事
出席客員運営諮問委員：池田長生、西村純委員
議題：①運営諮問委員の補充について：家委員、永宮委員の後任として、西森秀
稔東京工業大学大学院理工学研究科教授と初田哲男理研仁科センター初田
量子ハドロン物理学研究室主任研究員にお願いすることとした。

5) 第5回

日時：平成27年9月2日 17:30~18:00
出席委員：梶田委員長、伊藤公孝、江口徹、須藤靖、十倉好紀、西森秀稔、
早野龍五委員
出席理事：小林誠、矢野安重、山田作衛、安藤恒也、家泰弘、柴田徳思、永宮正治
仁科浩二郎理事
出席監事：荒船次郎監事
出席評議員：山崎敏光会長
議題：①日本学術振興会の「卓越研究成果公開事業」への参画について：参画す
ることとし、矢野安重常務理事が事業委員会に出席する。②He氏のセミナー
について。③平成27年度定例仁科記念講演会「一般相対論100周年」
の企画について：司会は須藤靖運営諮問委員。

6) 第6回

日時：平成27年10月19日 17:30~18:00
出席委員：梶田隆章委員長、江口徹、十倉好紀、西森秀稔、初田哲男、早野龍五、
藤川和男委員
出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、秋光純、家泰弘、柴田徳思、
仁科浩二郎理事
出席監事：荒船次郎、江澤洋監事
出席評議員：山崎敏光会長
出席客員運営諮問委員：池田長生、西村純委員
議題：なし。
会議終了後、梶田隆章運営諮問委員長を囲んで2016年ノーベル物理学賞受賞の祝
賀会賀会を開催した。

7) 第7回

日時：平成27年11月27日 17:30~19:30
出席委員：江口徹（議長）、伊藤公孝、十倉好紀委員
出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、安藤恒也、永宮正治、
仁科浩二郎理事

出席監事：江澤洋監事

議題：①2016年 NAA 候補推薦者の追加について。②授賞式の式次第について：
選考委員長からの選考理由説明を短くするとともに、受賞者からのスピーチを無くして、懇親会に十分な時間がとれるようにすることとした。

8) 第8回

日時：平成28年1月19日 17:30~18:30

出席委員：梶田隆章委員長、伊藤公孝、江口徹、須藤靖、十倉好紀、初田哲男委員

出席理事：小林誠、矢野安重、秋光純、安藤哲也、柴田徳思、永宮正治、

仁科浩二郎理事

出席監事：荒船次郎、江澤洋監事

出席評議員：山崎敏光会長

出席客員運営諮問委員：池田長生、西村純委員

議題：①2016年 NAA 候補推薦者の追加依頼について

9) 第9回

日時：平成28年2月23日 17:30~19:30

出席委員：梶田隆章委員長、伊藤公孝、江口徹委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、安藤恒也、柴田徳思、

江澤洋、永宮正治、仁科浩二郎理事

出席監事：江澤洋監事

出席評議員：山崎敏光会長

議題：①平成28年度事業計画書および収支予算書(案)について②平成28年度第62回仁科記念講演会は「113番新元素命名権獲得」に因んだテーマとすることとした。